

6年生 修学旅行に行ってきました！

7月5日～6日、6年生が修学旅行に出かけました。今年度は、札幌方面で実施しました。

1日目は、今年完成したばかりのエスコンフィールド北海道へ。球場内の見学ツアーに参加したり、応援席で昼食を食べたり新しい施設を満喫しました。午後からは、えこりん村へ。とまとの森や牧羊犬のショーを楽しみました。また、宿泊先である定山溪では、おいしい食事と温泉やプールで、仲間と充実した時間を過ごしました。



「フレップがお出迎え」



円山動物園～「象だ！」

2日目は、円山動物園の見学や劇団四季によるミュージカル「リトルマーメイド」の鑑賞をしました。歌やダンス、美しい舞台セットに子どもたちは感動していました。

仲間とともに、様々な物を見て、触れて、学校の中では味わえない貴重な経験をし、心に残る思い出もたくさんできた様子です。



郊外学習（見学）・出前授業の様子から

本物に触れ、その道のプロの方にお話を聞く大変貴重な機会となっています。

2年生「旭山動物園へ」

生活科の学習で出かけました。動物園では、小動物との触れ合いを通して、命のぬくもりや愛おしさを実感したり、お世話をする事への責任を考えたりする機会となりました。



3年生「発見！東五条」

総合的な学習の時間に、本校の同窓生である酒井保則様にご来校いただき、東五条小学校の歴史についてお話していただきました。質問にも答えていただき、学習を深めることができました。

4年生「近文清掃工場へ」

社会科の学習で出かけました。毎日の生活の中で出されるごみが、どのように処理されているのか、工場の見学や働いている人への質問を通して、理解を深めることができました。



10月の行事予定

- 2日(月) 全校朝会
学習発表会特別日課開始
- 5日(木) 諸費引落日
- 10日(火) 臨時休業日
(旭川市教育研究大会のため)
- 13日(金) 委員会
- 20日(金) 読み聞かせ
- 21日(土) 学習発表会
- 23日(月) 振替休業日
- 24日(火) 教育相談週間
(～30日)

PTAによる 五条っ子イベントの開催

PTA 特別事業部役員さんの企画・運営による「五条っ子イベント」が開催されます。ぜひ、たくさんのご参加をお待ちしています。

と き: 9月30日(土)
13:30～15:30
と ころ: 東五条小体育館

※縁日形式(一部有料)で行われます。

東五条小学校 学校ホームページで

学校での取組や児童の活動の様子を随時掲載しています。お時間のあるときに、ぜひご覧ください。



ホームページアドレス・QRコード
<http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/higashigojo-els/>
「五条っ子のようす」
「保護者のみなさまへのお知らせ」
「学校暦」「東五条ガイド」等が掲載されています。

人間らしい判断に磨きをかける

校長 三浦 一路

異常な高温が続いた8月末から半月ほどで、気温は一気に秋めいて、紅葉の便りも間もなくです。あの暑さを考えたら、涼しくなるのは好ましいことですが、身体がなかなか適応できませんね。子供たちの風邪症状も少し増加傾向です。朝晩寒い日もありますので、衣服の選択など、ご家庭でも子供たちと一緒に考えていただければと思います。

こうした気候変動も含め、予測困難な時代に突入していると言われています。確かに、自分が中学生くらいの頃は、これから出て行く社会がどのようなものかはある程度実感を伴って予測できた気がしますが、現在では、今後10～15年後までに多くの分野で起きるであろう変化、変革を予測することは難しくなっています。そうした社会に子供たちは出て行くこととなります。政府は次の図を用いて、目指すべき「Society5.0」の社会について例示していますが、もっと計り知れない分野で変革が起きることでしょう。



予測を難しくしている原因の一つが、AI(人工知能)の存在です。先日サイエンス作家の竹内 薫さんの講演を聴く機会がありました。「AI時代に求められる人材と働き方」というテーマのお話でした。物理学博士でもある竹内さんは、現段階の人工知能はあくまで人間の出すプロンプト(刺激)に従って、人間がやれば膨大な時間がかかるであ

ろう作業をビッグデータを用いて瞬時にできるという程度ということでした。ただし、そうした分野でのAIの発展は著しく、数年前までのAIの翻訳は、明らかに機械的な日本語であったものが、現在では、それなりのスキルと経験をもった翻訳家の文章並みに、早く安く翻訳することができるそうです。竹内さん自身も翻訳家ですが、職としての存続は見通せないとも話していました。翻訳の的確性というよりも、そこまでの進歩のスピードに驚きを感じました。

私としては、映画「ターミネーター」のように、人工知能が人類を駆逐するために、自ら核戦争を起こし…、という恐怖を感じます。しかし、現状では全ての分野で人間を上回るというわけではないようで、決定的なのはAIが「意識」をもつということを見通せないことだそうです。そこにAIが到達するには、脳科学分野で人間の「意識」の仕組みを解明しなくてはならず、AI自身が「自分とは何者であるか」を認識し、自らの意思で思考して判断するようになるのは、そう簡単ではないそうです。(技術的特異点やシンギュラリティと言われ、2045年にはそれが起きると考える学者もいます。)

だからこそ、AIの得意分野は生かしながらも、人間は人間にしかできない人間らしい的確で温かみのある判断ができるよう自分を磨いていかなければなりません。子供たちの学びも、AIには及ばない暗記型の学びから、自ら課題を見付け、解決方法を見通し、他者と協働しながら最適な答えを見付けるという、人間ならではの問題解決の方法を身に付ける学びへとシフトしています。我々大人が、先が見通せない時代に入っていくということを実感し、子供たちには、変化に柔軟に対応し、時代を切り拓くたくましい力を養っていききたいものです。

学校だより

東五条

令和5年9月

東五条小学校発行

第266号

東五条小学校

教育目標

かしこさ
ゆたかさ
たくましさ